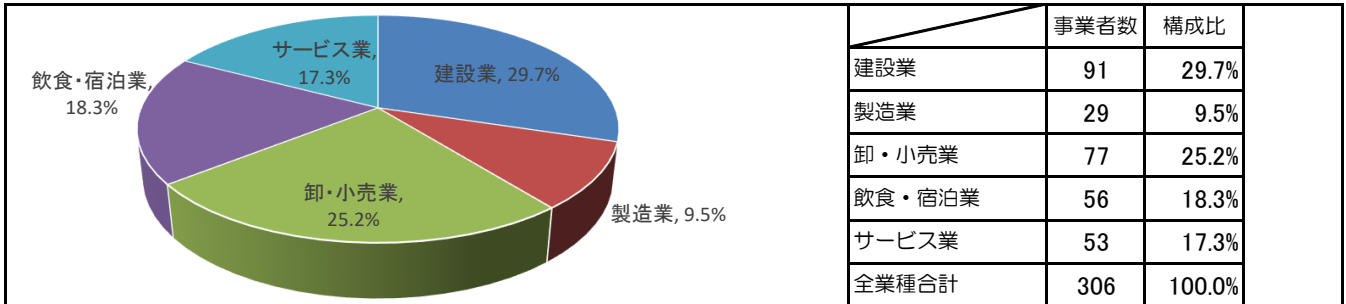


十日町市商工会地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R2.1.1~R2.3.31) 松代町地区

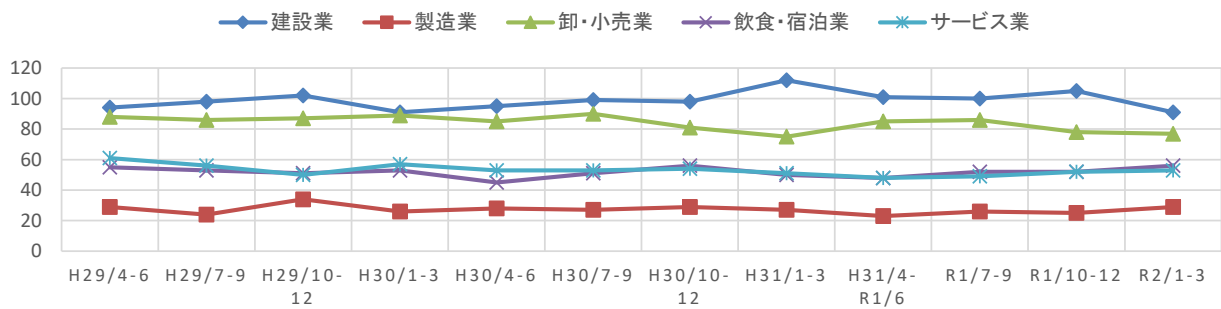
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>

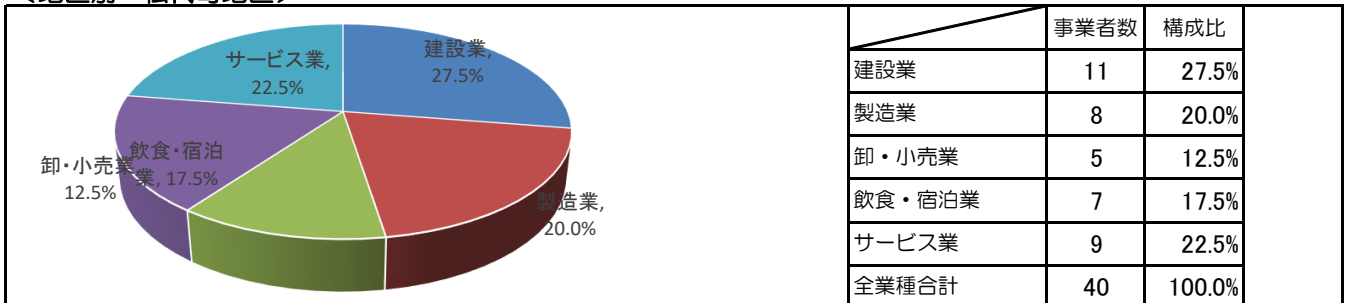


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

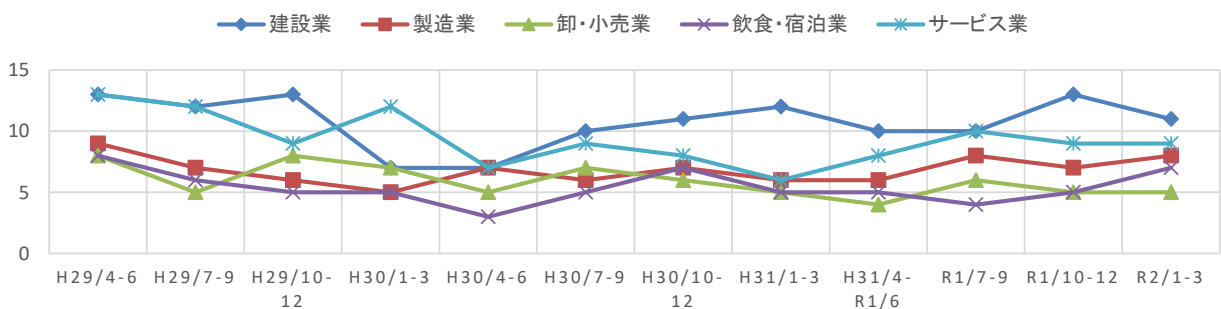


<コメント> 今回調査の回答事業所は、前回調査よりも6事業所減少しているが、十日町市内商工会地域全体(約1,000社)の約3割の事業所から回答を得ることができた。
建設業の回答割合が減少しているものの、業種構成割合は大きな変動は無かった。

<地区別：松代町地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



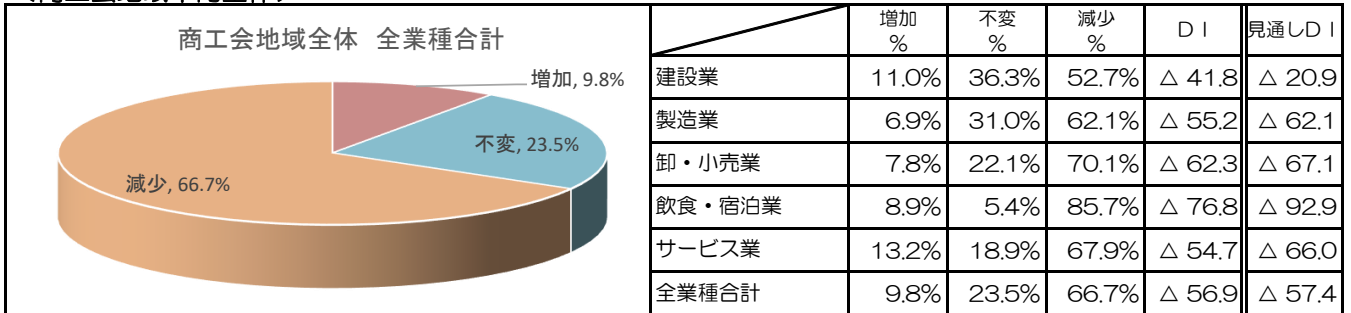
<コメント> 今回調査の回答事業所は、前回調査よりも1事業所増加し40社になって、松代地域内商工会地域全体(約110社)の約3割調査事業所の6割の事業所から回答を得ることができた。
建設業の回答割合が減少しているものの、宿泊・飲食業が増加し、他の業種構成割合は大きな変動は無かった。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

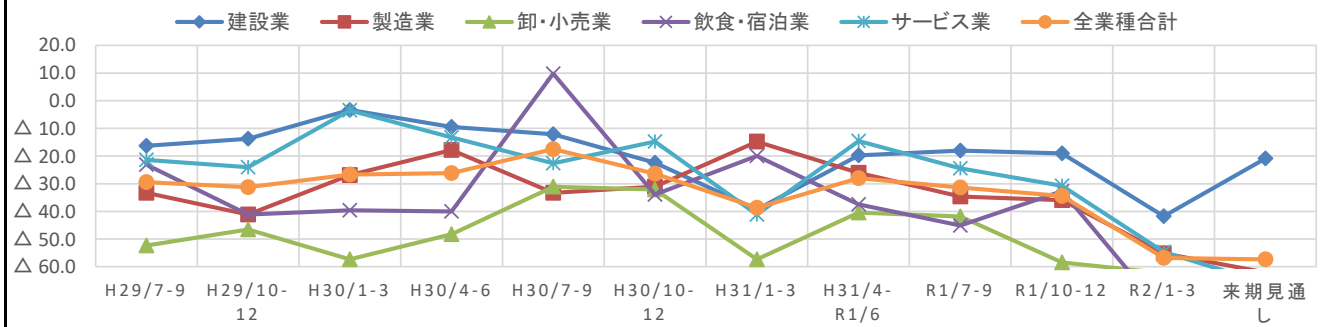
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

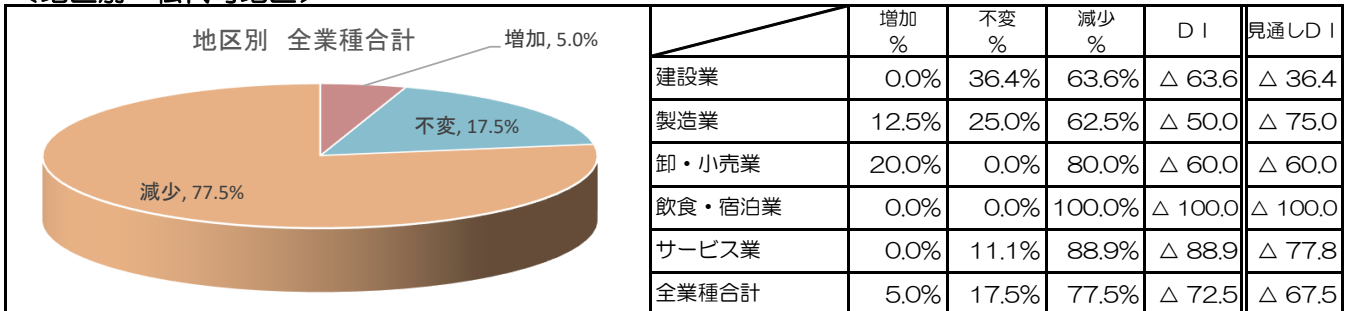


業種別売上の推移（市内全体）

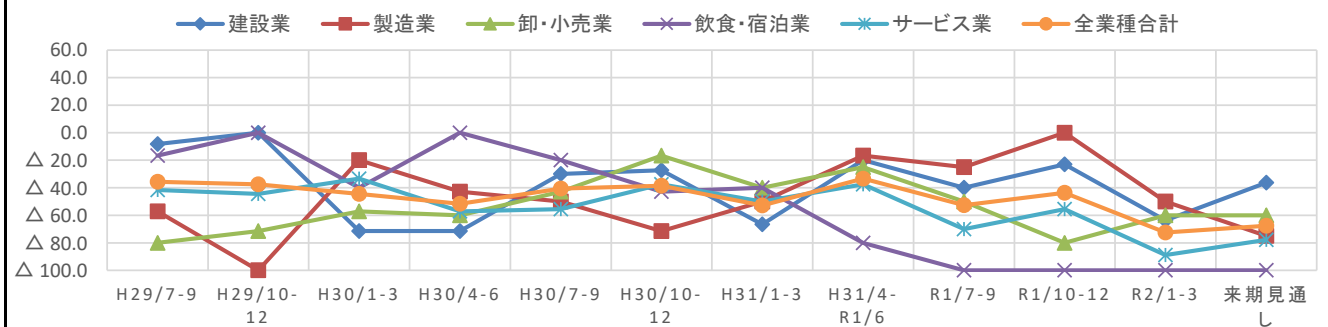


<コメント> 今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△56.9ポイントで、前回調査時よりも22.5ポイント減少となっている。前回調査時の来期見通しどおりの結果となっており、小雪による除雪関係の売上減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく反映されている。来期見通しでは、建設業で増加予測があるものの、その他の業種は今期よりも減少するものと思われる。

<地区別：松代町地区>



業種別売上の推移（地区別）

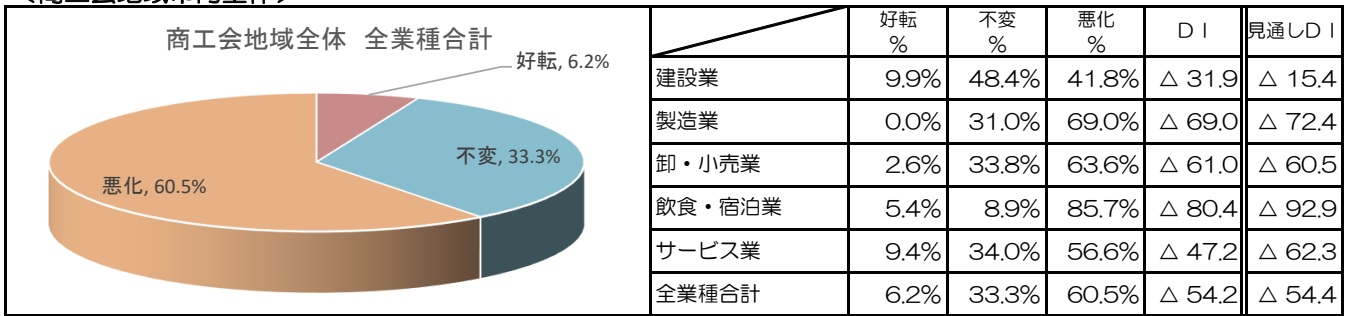


<コメント> 今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△72.5ポイントで、前回調査時よりも28.9ポイント減少となっている。前回調査時の来期見通しどおりの結果となっており、小雪による除雪関係の売上減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく反映されている。来期見通しでは、建設業で回復予測があるものの、その他の業種は今期よりも横這い状況を予想している。

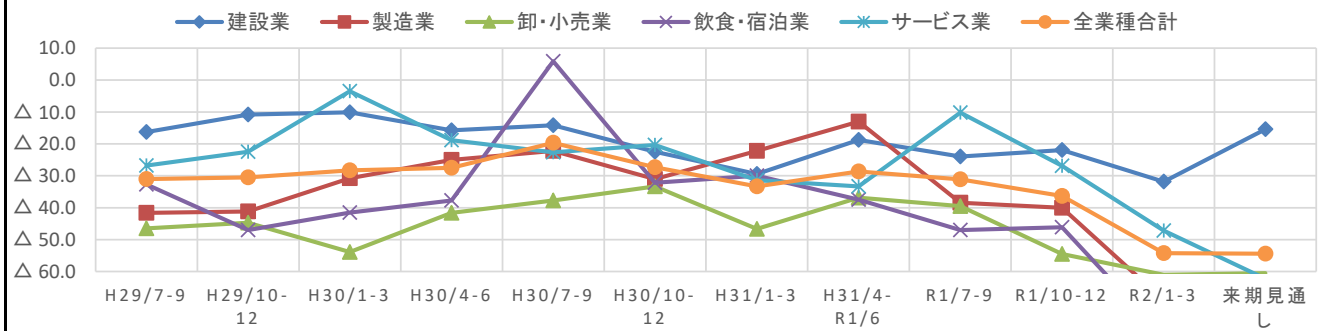
2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

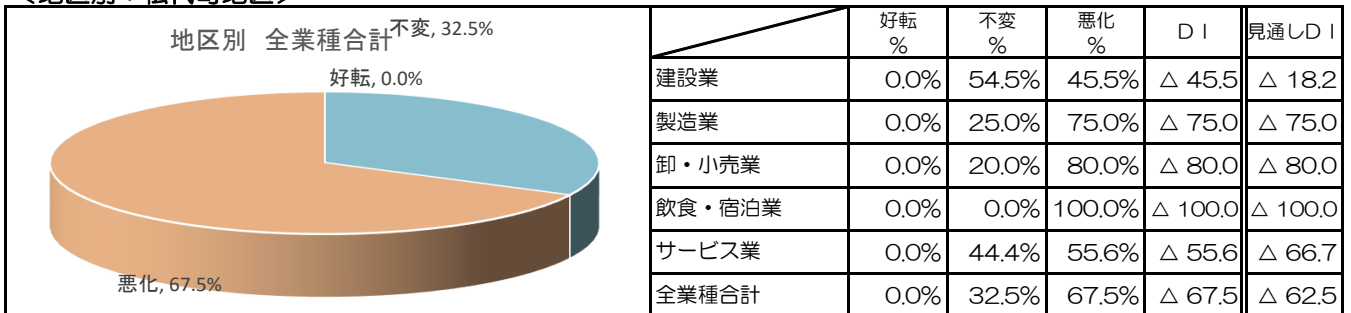


業種別採算の推移(市内全体)

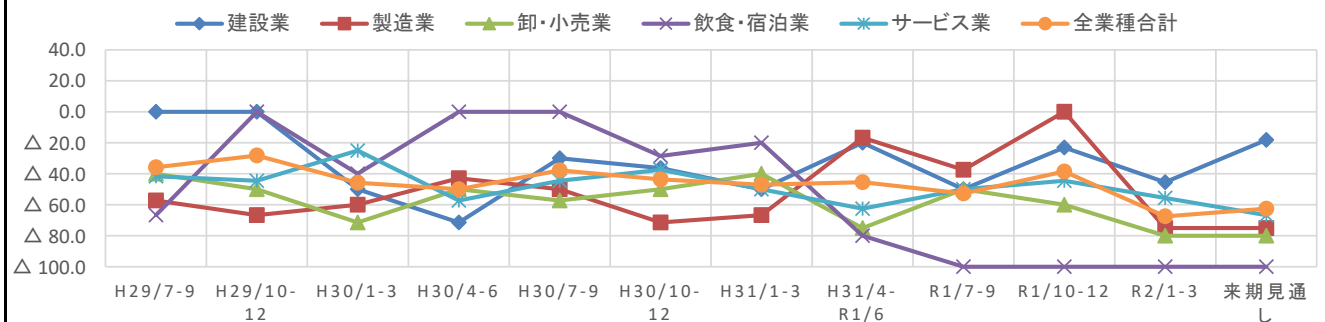


<コメント> 今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△54.2ポイントで、前回調査時よりも17.9ポイント悪化となっている。推移グラフの波形から分かるとおり、売上状況と同様で全業種で悪化、来期見通しでは建設業以外は今期と同様、若しくは今期よりも悪化するものと予測されている。特に飲食・宿泊業の悪化は、新型コロナウイルスの終息が見えないうちは改善されそうもない。

<地区別：松代町地区>



業種別採算の推移(地区別)

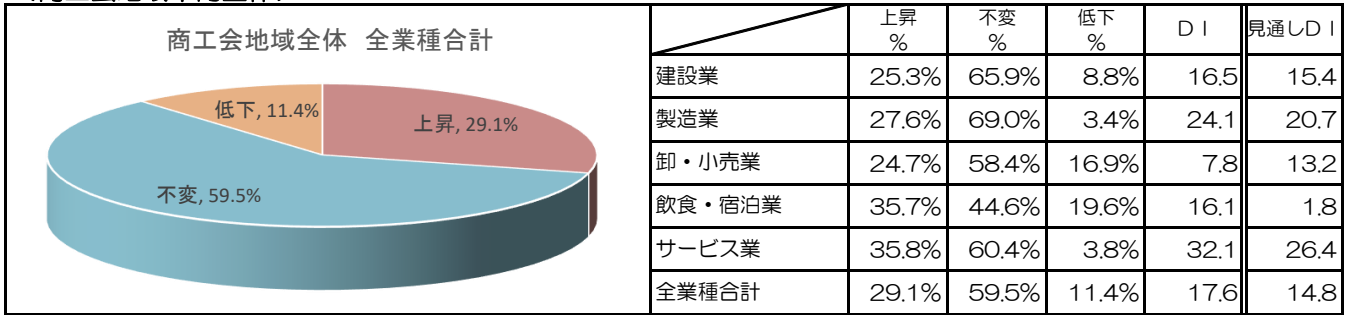


<コメント> 今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値で△67.5ポイントで、前回調査時よりも29.0ポイント悪化となっている。推移グラフの波形から分かるとおり、売上状況と同様で全業種で悪化、来期見通しでは建設業以外は今期と同様、悪化するものと予測されている。特に飲食・宿泊業の悪化は、新型コロナウイルスの終息が見えないうちは70～80ポイント減と最低線を横這いしている。

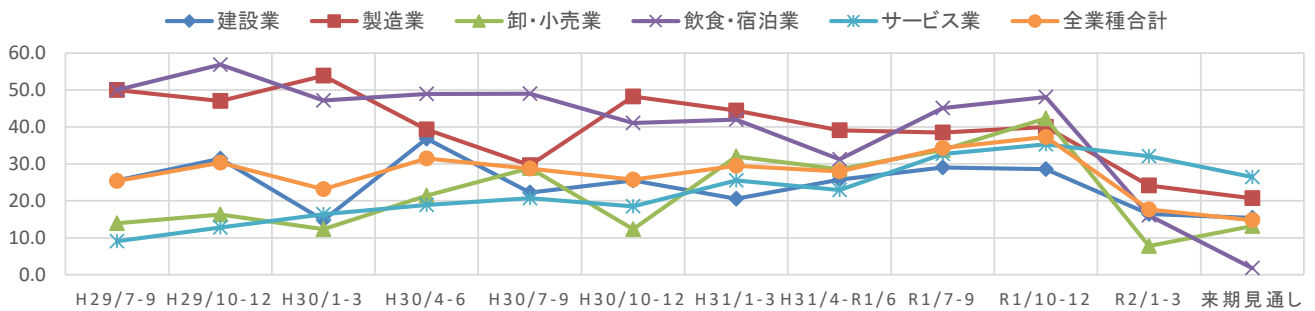
3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

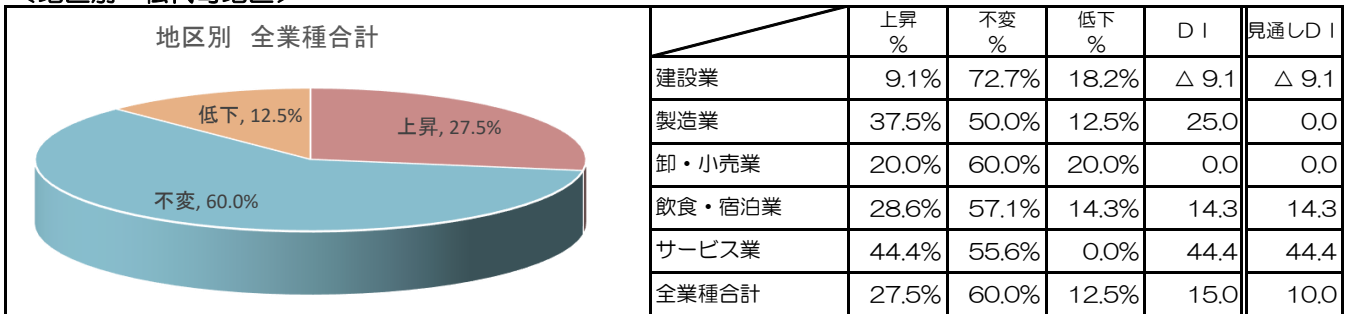


業種別仕入単価の推移(市内全体)

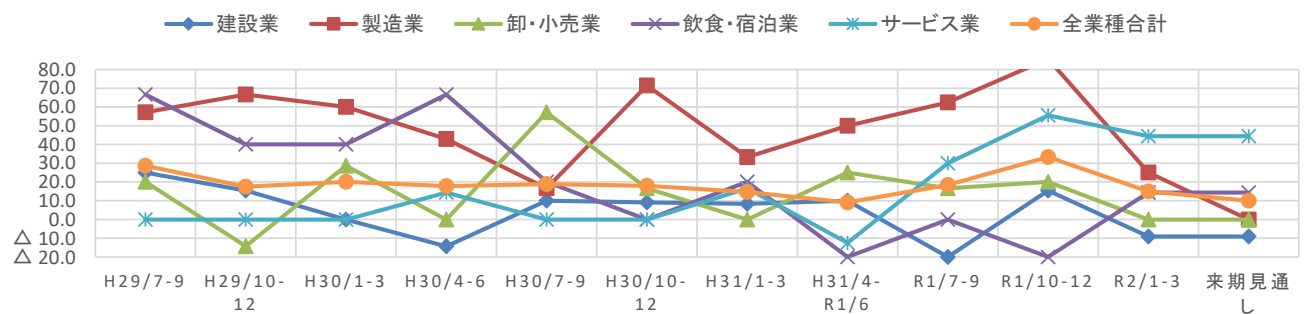


<コメント> 今期の市内全体の仕入単価状況は、全業種DI値で17.6ポイントとなっており、前回調査時よりも19.7ポイント低下となった。仕入単価においても新型コロナウイルスの影響が反映されており、すべての業種で売上が減少していることから、市場に物が余ってしまっていることによる仕入単価の減少と思われる。

<地区別：松代町地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

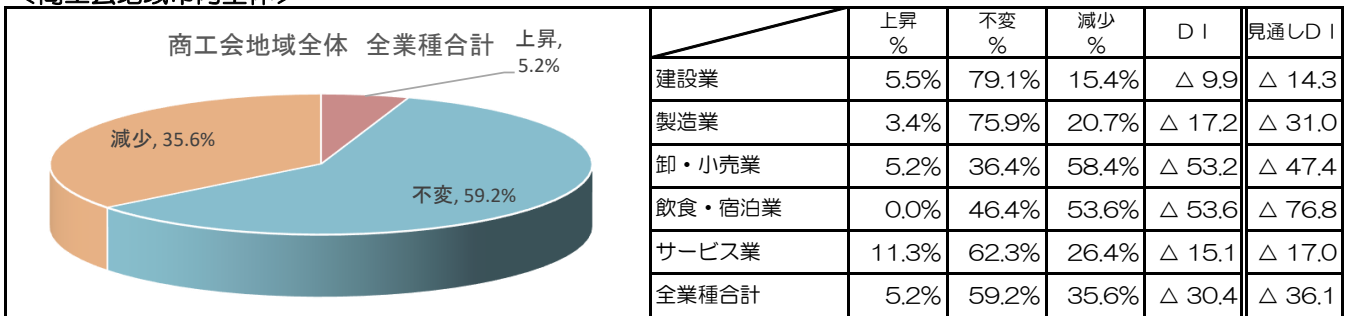


<コメント> 今期の市内全体の仕入単価状況は、全業種DI値で15.0ポイントとなっており、前回調査時よりも18.3ポイント低下となった。仕入単価においても新型コロナウイルスの影響が反映されており、飲食・宿泊業以外のすべての業種で仕入単価が減少していることから、市場に物が余ってしまっていることによる仕入単価の減少と思われる。今後の予想も全業種において下げ止まり感がある。

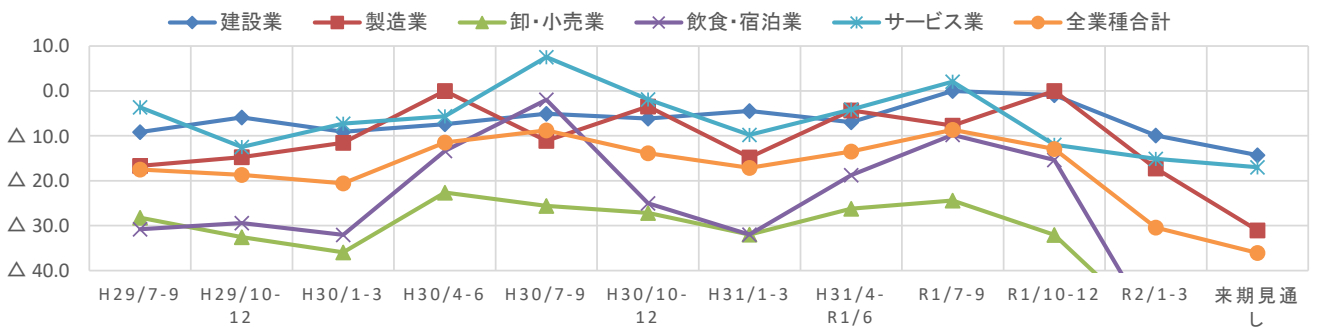
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

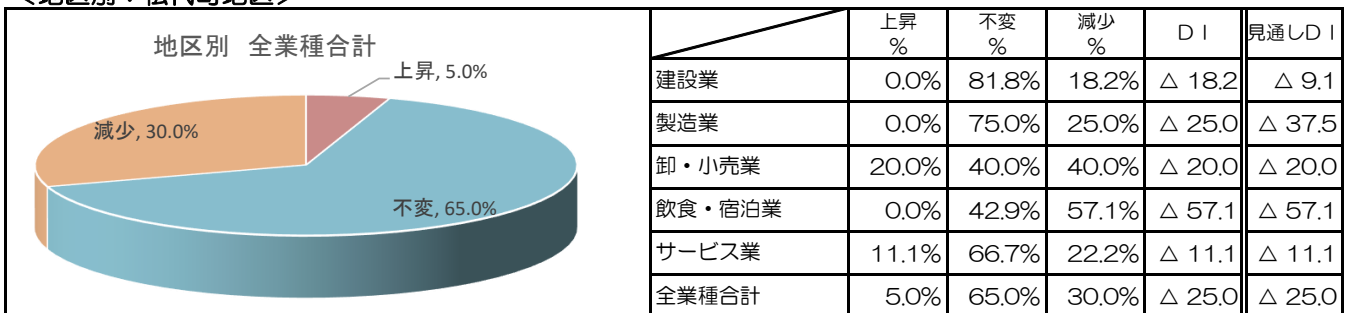


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

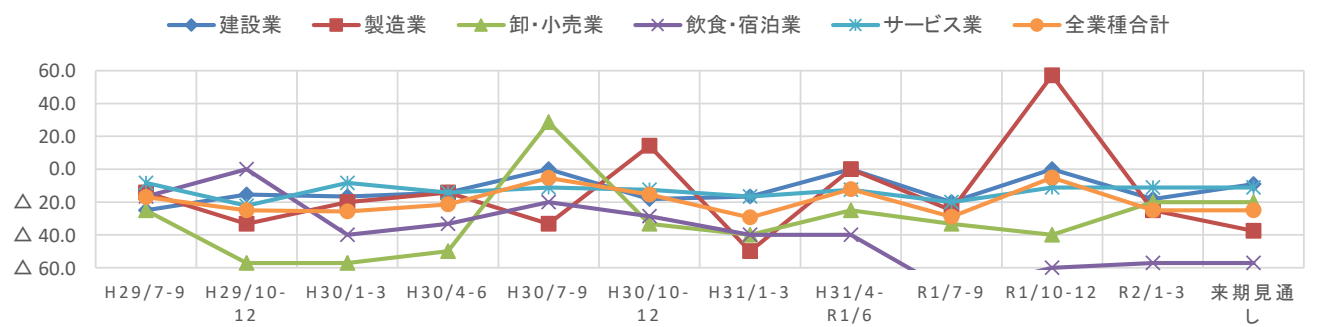


<コメント> 今期の市内全体の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△30.4ポイントで、前回調査時よりも17.5ポイント減少であった。全ての業種で減少となっているが、この調査項目も、新型コロナウイルスの影響により営業自粛や休業を余儀なくされている飲食・宿泊業に付随して卸・小売業の減少が著しい。

<地区別：松代町地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

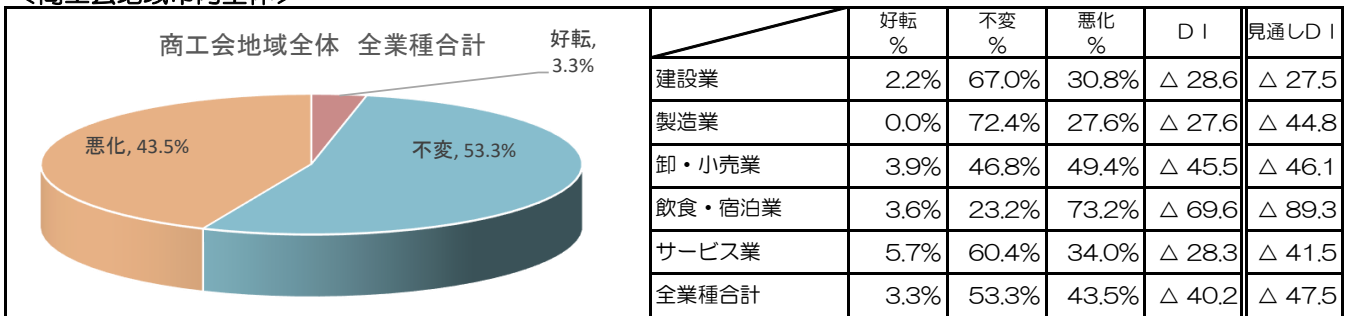


<コメント> 今期の市内全体の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△25.0ポイントで、前回調査時よりも19.9ポイント減少であった。全ての業種で減少となっているが、この調査項目も、新型コロナウイルスの影響により営業自粛や休業を余儀なくされている飲食・宿泊業以上に卸・小売業の減少幅が著しく低迷している。

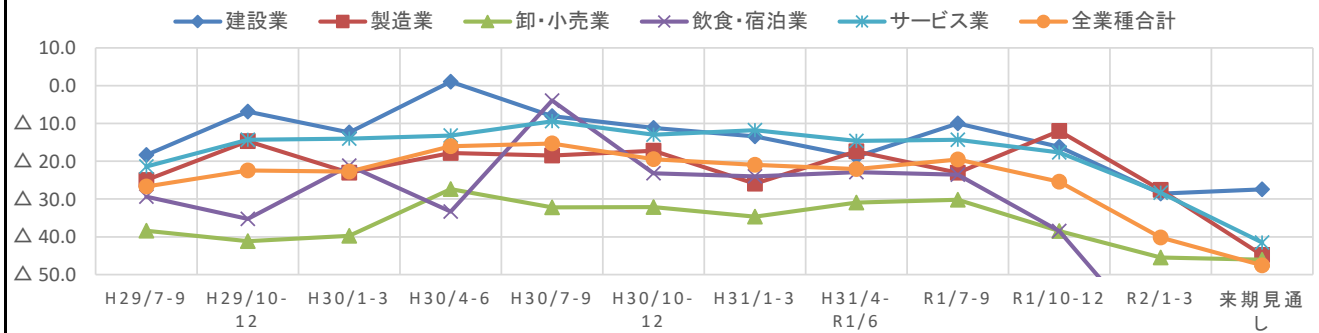
5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

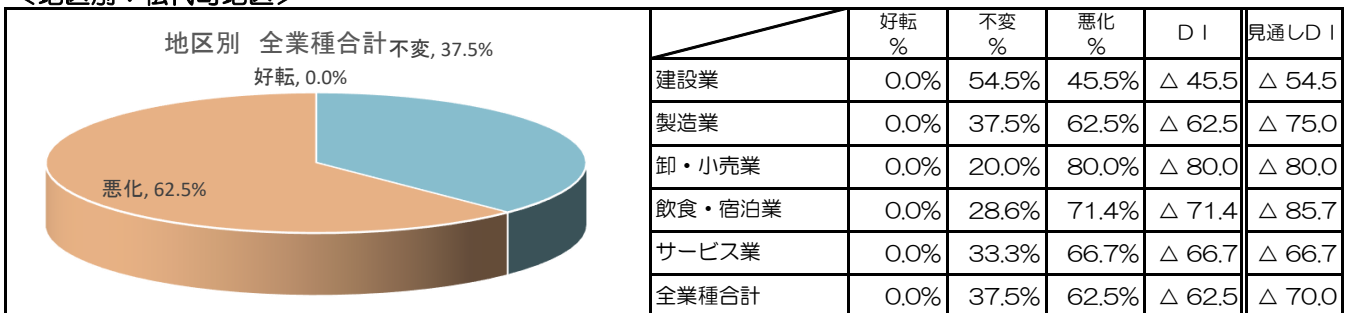


業種別資金繰りの推移(市内全体)

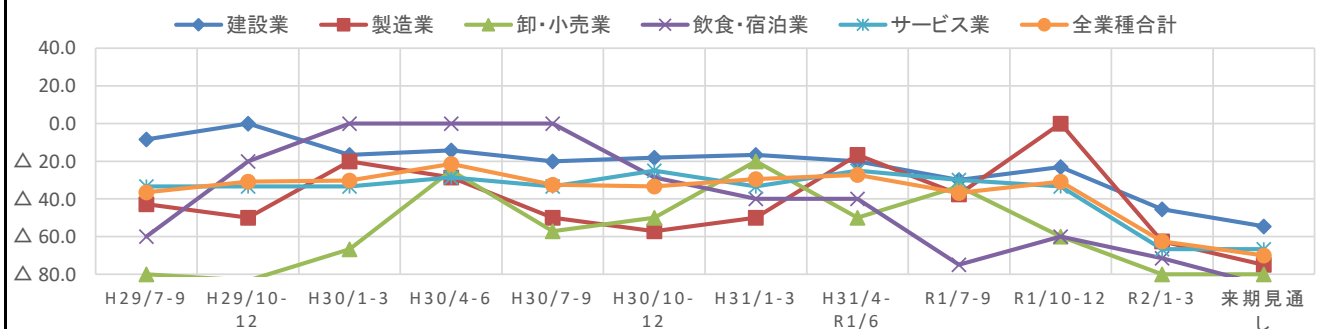


<コメント> 今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△40.2ポイントとなっており、前回調査時よりも14.8ポイントの悪化となっている。平成28年度の調査開始からの過去データを見ても今期ほどの悪化数値は無く、来期見通しにて今期よりも悪化予測されていることから、コロナウイルスの早期終息がないこと、資金余力のない事業所に手厚い支援が無いと、倒産や廃業も懸念されるところである。

<地区別：松代町地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

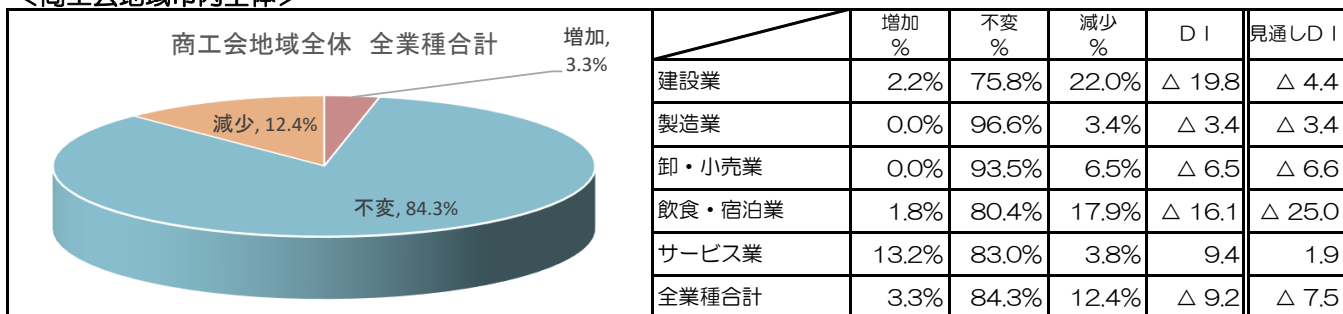


<コメント> 今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△62.5ポイントとなっており、前回調査時よりも31.7ポイントの悪化となっている。調査開始以降のデータを見ても今期ほどの悪化数値は無く、来期見通しは今期よりも更に悪化予測されていることから、市全体と同様に早くコロナウイルスが終息されないと、資金余力のない事業所は倒産や廃業も懸念される。

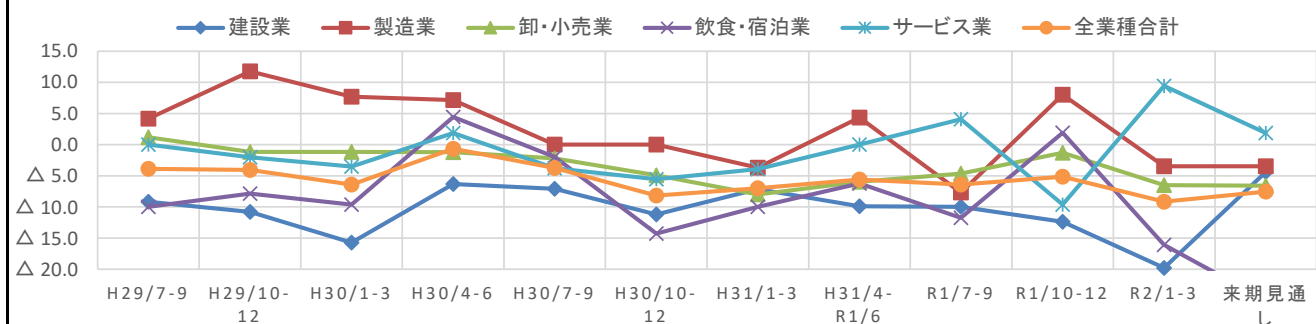
6. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

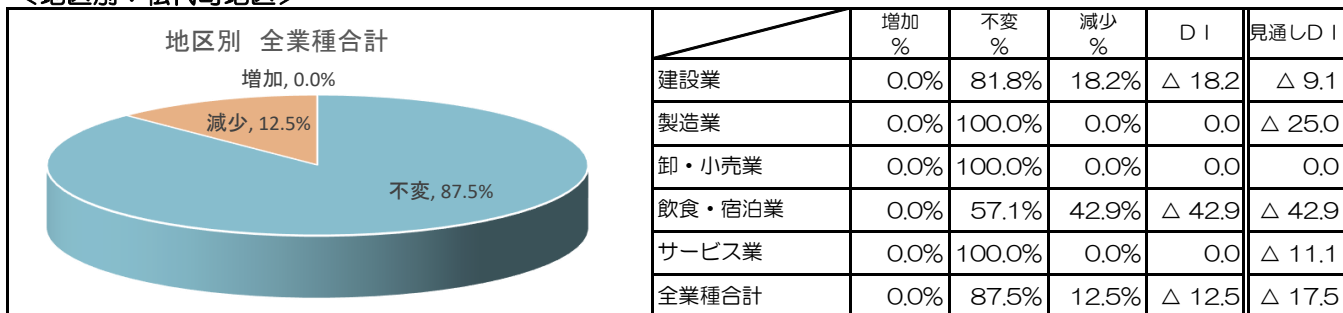


業種別従業員数の推移(市内全体)

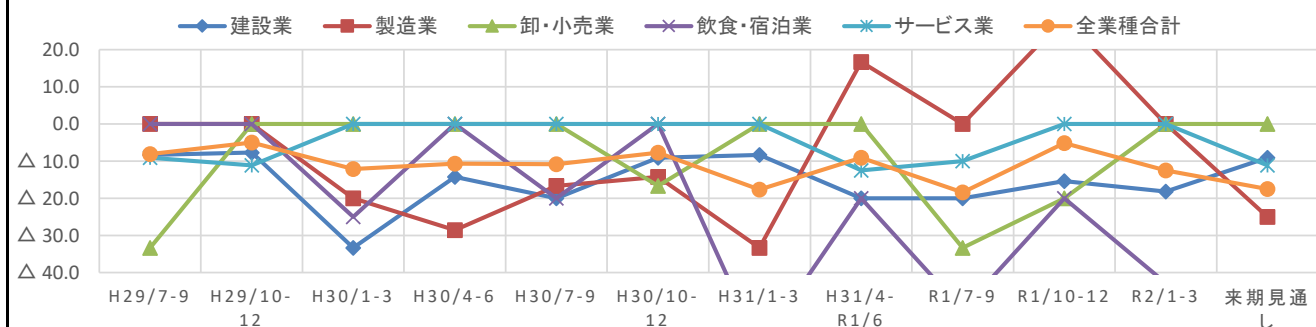


<コメント> 今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△9.2ポイントとなっており、前回調査時よりも4.1ポイント減少となった。業種別ではサービス業で増加となっているものの、その他の業種は減少している。来期見通しにおいては建設業で増加予測されているが、飲食・宿泊業とサービス業で減少を示しており、業種全体では今期よりも微増となっている。

<地区別：松代町地区>



業種別従業員数の推移(地区別)

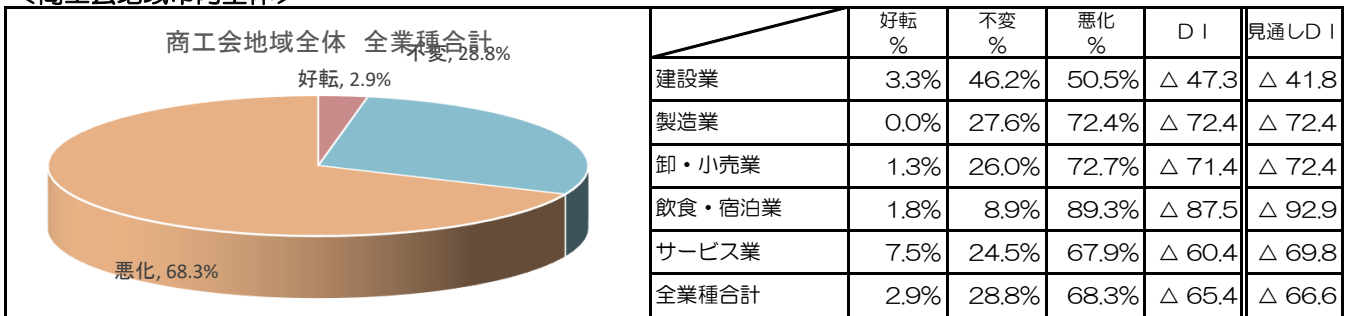


<コメント> 今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△12.5ポイントとなっており、前回調査時よりも7.4ポイント減少となった。業種別では卸・小売業で増加となっているものの、その他の業種は減少している。来期見通しにおいては建設業で増加予測されているが、飲食・宿泊業と製造業で減少を予想しており、業種全体では今期よりも減少を予想している。

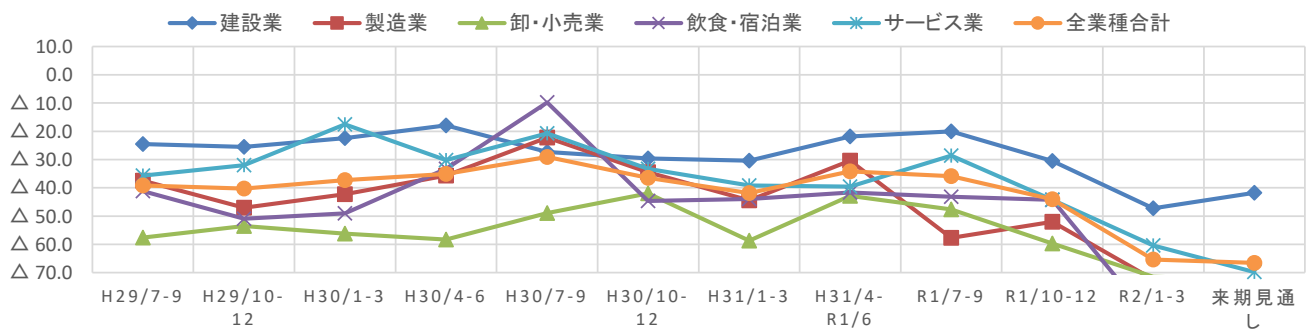
7. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>

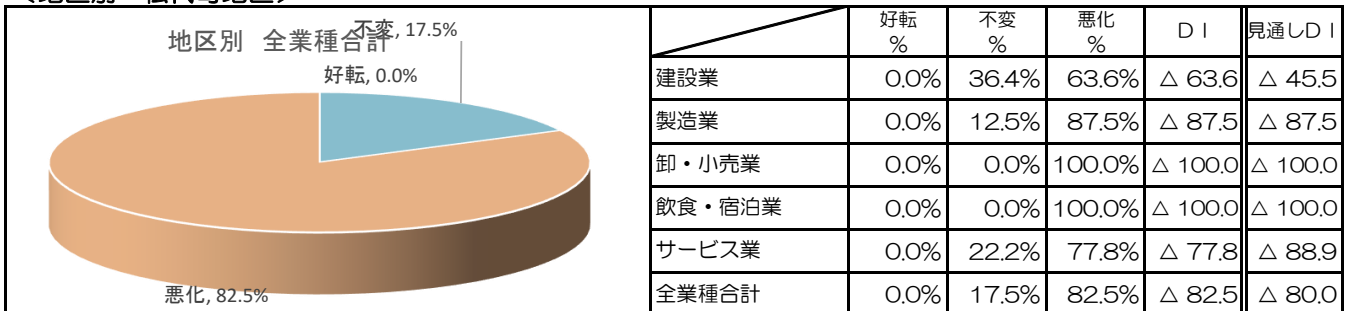


業種別景況判断の推移(市内全体)

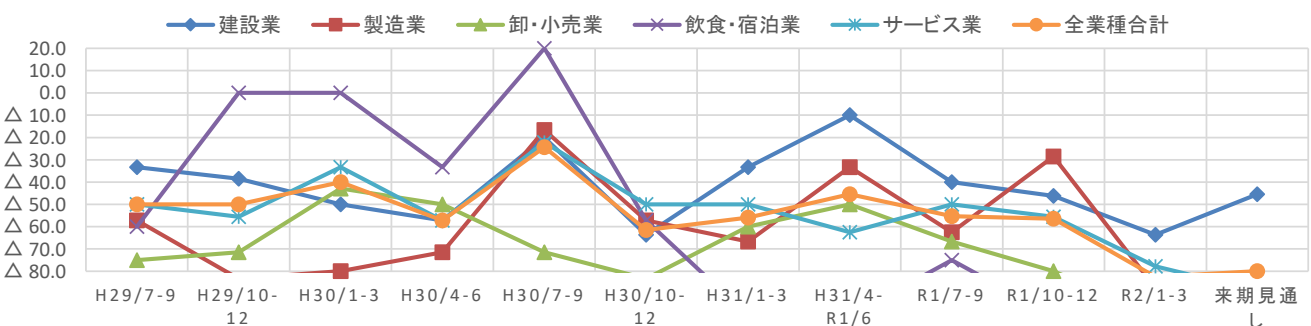


<コメント> 今期の市内全体の景況判断状況は、全業種DI値で△65.4ポイントとなっており、前回調査時よりも21.3ポイントと大きな悪化を示している。業種別でも全ての業種で悪化となっており、特に飲食・宿泊業の悪化割合が高くなっている。来期見通しにおいても今期と同レベルの数値が示されており、改善は見込めない状況である。

<地区別：松代町地区>

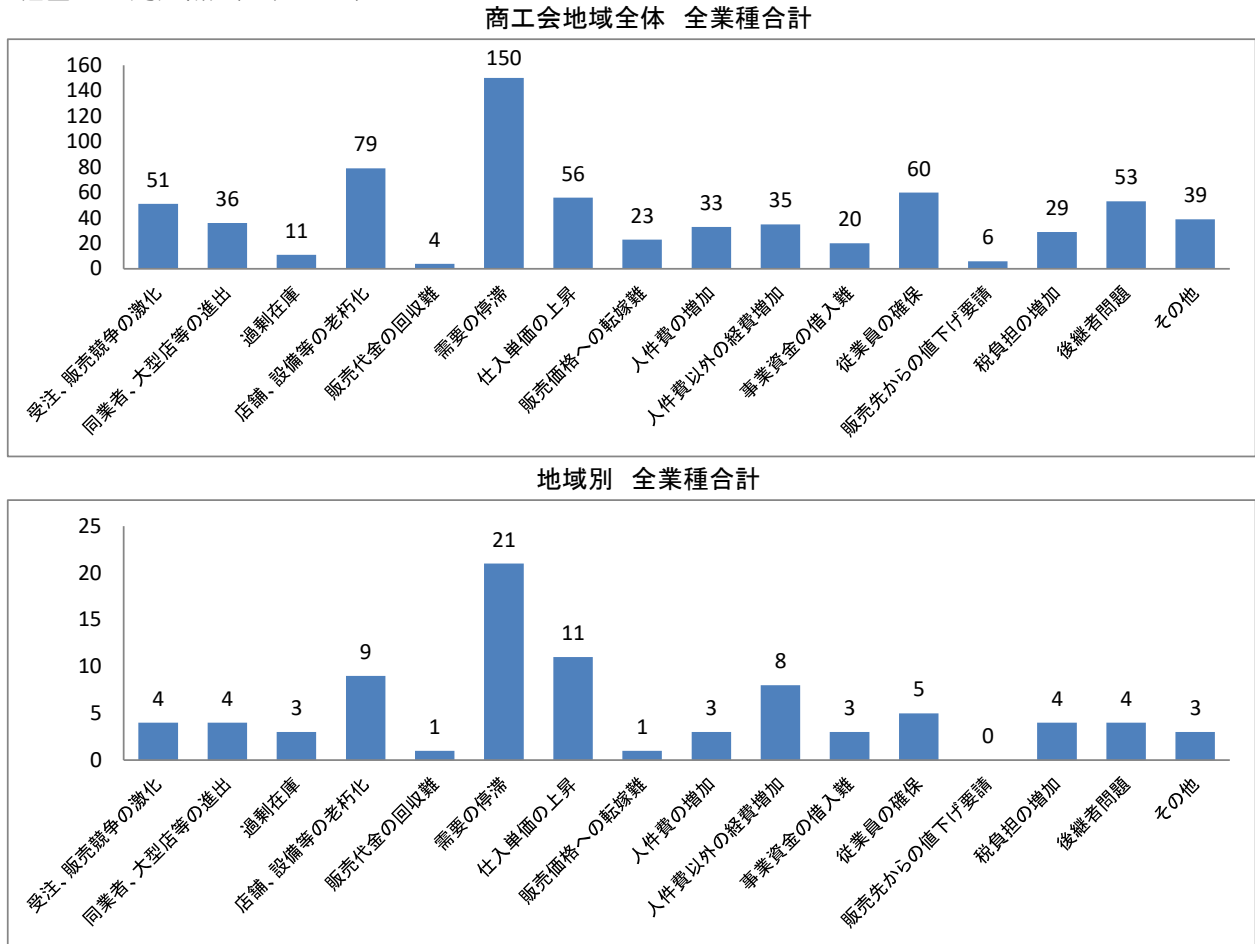


業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント> 今期の市内全体の景況判断状況は、全業種DI値で△82.5ポイントとなっており、前回調査時よりも26.1ポイントと大きな悪化を示している。業種別でも全ての業種で悪化となっており、特に飲食・宿泊業の悪化割合が高く推移グラフに表示できないほどである。来期見通しにおいても今期と同レベルの数値が示されており、改善は見込めないが、建設業は改善を見込んでいる。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



＜コメント＞ 今期調査での経営上の問題点は、1位は前回同様「需要の停滞」であったが、2位は「仕入単価の上昇」となり、3位が「店舗・設備等の老朽化」であった。次いで多かったのは「人件費以外の経費の増加」であり、仕入単価は前回の2位から不動であった。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

【建設業】 今回の調査で松代地域内において建設業の全体概況としては、「売上DI△63.6」及び「採算DI△45.5」とも下降傾向であり、今後の見通しは好転を予想し「売上DI△36.4」は少しではあるが上向きを予測している。経営上の問題でも、1位が「従業員の確保」2位が「需要の停滞」3位が「受注販売競争の激化」「店舗・設備の老朽化」「人件費の増加」「人件費以外の経費の増加」の4項目が同列の結果となった。この業種においては仕事の割合より人が少ないことが前回調査に引き続き課題となっていくと予想されます。

【製造業】 今回の調査で松代地域内において製造業の全体概況としては、「売上DI△50.0」及び「採算DI△75.0」とも下降傾向であり、今後の見通しも更に下降を予測しており「景況感DI△87.5」と更に不調を予測している。経営上の問題でも、1位が「仕入単価の上昇」「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」の3項目が同列の結果となった。2位が「受注販売競争の激化」「人件費以外の経費の増加」でこの業種においては仕入単価が収益を左右することが推測され、今後は更に心配されます。

【卸・小売業】 今回の調査で松代地域内において卸・小売業の全体概況としては、「売上DI△60.0」及び「採算DI△80.0」は下降傾向で「仕入単価DI0.0」の横這い傾向のようである。今後の見通しも「売上DI△60.0」及び「採算DI△80.0」は下降傾向で「仕入単価DI0.0」で現況を更に変更ないことを予想される状況です。経営上の問題は、「需要の停滞」が単独一位の結果となった。この業種においては新型コロナウイルスの影響が激しいことが推測され、今後の注視していかねばいけない。

【飲食・宿泊業】 今回の調査で松代地域内において飲食・宿泊業の全体概況としては、「売上DI△100.0」「採算DI△100.0」及び「資金繰りDI△57.1」はほとんどの項目で下降傾向であり、更に今後の見通しにおいても「売上DI△100.0」「採算DI△100.0」及び「資金繰りDI△57.1」と現在と同様に予測しております。経営上の問題は、1位が「需要の停滞」及び「仕入単価の上昇」2位が「過剰在庫」「店舗・設備の老朽化」「人件費以外の経費の増加」である結果となった。この業種においては新型コロナウイルスの影響が激しいことが推測され、今後の注視していかねばいけない。

【サービス業】 今回の調査で松代地域内においてサービス業の全体概況としては「売上DI△88.9」、「資金繰りDI△66.7」「採算DI△55.6」及び「景況感DI△77.8」は激減傾向、「仕入単価DI△44.4」は上向き傾向を示しました。また、今後の見通しにおいても「売上DI△77.8」と「採算DI△66.7」及び「資金繰りDI△66.7」と激減傾向予測している状況です。経営上の問題は、「需要の停滞」が単独一位の結果となった。この業種においては新型コロナウイルスの影響が激しいことが推測され、今後の注視していかねばいけない。